

造兵廠の施設

造兵廠は、下の4つの区域に分かれていました。

○第1工場

一番北側にあたる区域で、火薬や雷管を製造していた雷汞爆粉乾燥室・雷管充填室・黄燐充填室・窒化鉛製造室など、爆発事故が起こる危険性が高い施設が集中しています。そのため事故発生時に他の建物への延焼・誘爆を避けるためにこれらの建物の周囲には高いコンクリート製の塀や土塁が設けられていました。

○第2工場

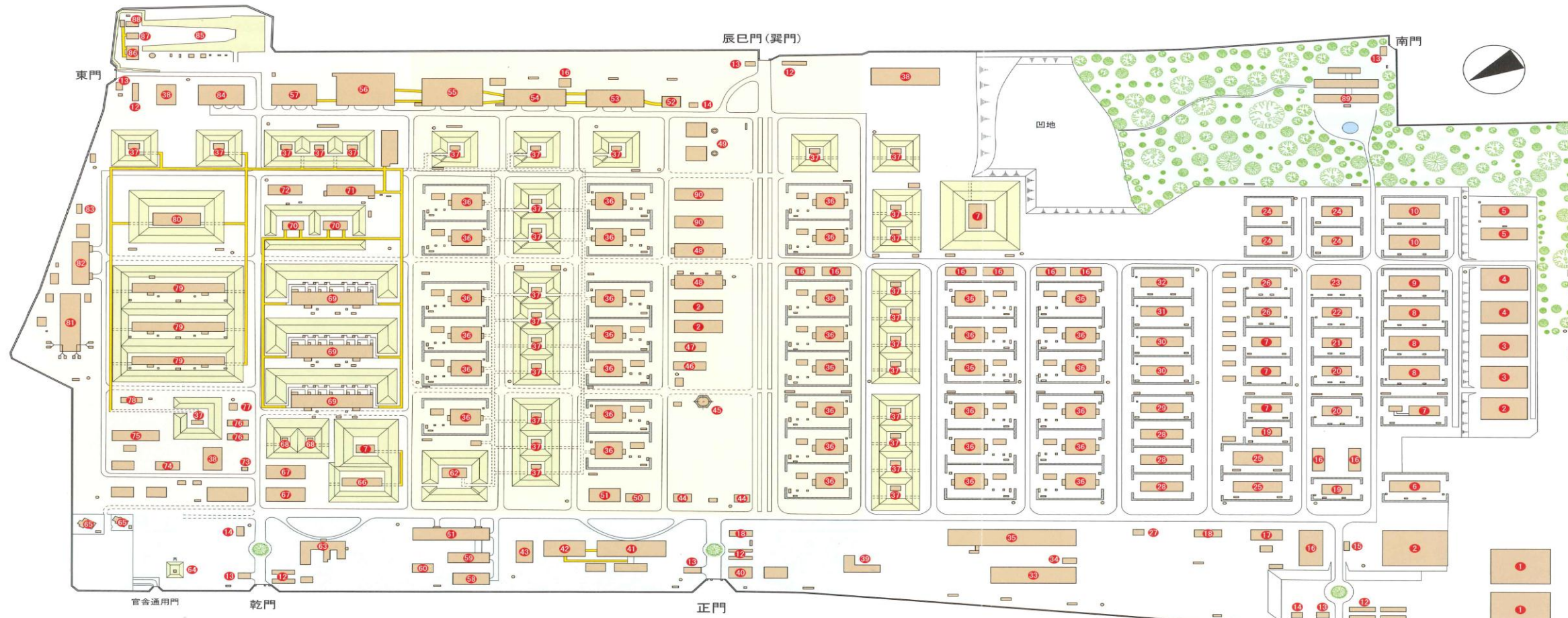
造兵廠中央部で、最も広い面積を占めています。この区域には高さ27mの給水塔の他に、高いコンクリート塀で囲まれた多くの弾薬充填室（火薬を手動プレス機で詰める作業を行う建物）や土塁に囲まれた倉庫があり、第1工場同様に爆発事故の危険性が高かった区域です。

○第3工場

一番南側の区域で、コンクリート塀で囲まれた各種組立工場、倉庫が建てられていました。20ミリ機関砲弾・12.7ミリ機関銃弾・照明弾・信号弾などの組立工程を行っていたので、危険度は第1・第2工場に比べて低く、従業員も最も多かったとされています。

○工場内管理・厚生施設

造兵廠の事務・管理を担当していた部署の施設で、道路に面した正門・乾門付近に建てられていた庶工務事務所・会計事務所、消防夫事務所、会食所（食堂）、共栄会売店、医務室、青年訓練所などがありました。



番号	主要な建物の名称	番号	主要な建物の名称
1	材料置場	46	会計成品庫
2	部品置場	47	会計材料庫
3	箱詰室	48	焼夷実包工室
4	包装室	49	煙突・汽缶室
5	信管装着室	50	薬品庫
6	弾薬筒完成室	51	分析室
7	乾燥室	52	填薬工場事務所
8	炸薬充填室	53	圧嵌塗抹工場
9	弾丸完成室	54	填薬工場
10	弾薬筒結合室	55	口締塗抹工場
11	面会所	56	装着箱詰工場
12	自転車置場	57	実包格納庫
13	守衛詰所	58	電気室
14	授乳所	59	剣道場及び浴室
15	技術課	60	修理工場
16	検査室	61	第一会食所
17	第三工場事務所	62	老垂薬乾燥室
18	消防夫詰所	63	医務室
19	細末室	64	稲荷社
20	点火薬室	65	官舎
21	点火薬置場	66	窒化鉛駆水造粉室
22	管薬室	67	窒化鉛製造室
23	着管室	68	乾窒化鉛室
24	完成品庫	69	雷管充填室
25	九二曳光填実室	70	雷管乾燥室
26	曳光剤室	71	雷管撰分室
27	変電室	72	錫箔乾燥室
28	材料庫	73	ナトリウム庫
29	配合室	74	危険品倉庫
30	照明弾充填室	75	第一工場事務所
31	信号弾充填室	76	粉碎室
32	信号室	77	変圧器室
33	第三会食所	78	塩素酸加里細末室
34	浴室	79	爆粉製造室
35	第二会食所及び炊事場	80	雷汞爆粉乾燥室
36	爆薬充填室	81	化工室
37	倉庫	82	黄燐充填室
38	アルコール庫	83	黄燐筒庫
39	技術課出張所	84	素箱雑品格納庫
40	共栄会売場	85	射場
41	庶工務掛事務所	86	手入場
42	会計課事務所	87	発射室
43	電気実験室	88	準備室
44	自動車庫	89	青年訓練所
45	水槽塔(給水塔)	90	物置

凡例			
■	第1工場	□	管理・厚生施設
■	第2工場	■	主要な建物・番号
■	第3工場	■	防爆塀(土塁)
—		—	防壁
—		—	渡り廊下
●		●	植栽

（上福岡市立歴史民俗資料館所蔵「杉本須恵子家文書」より作成。原図は昭和17年のものであるが、加筆されており昭和19年春頃の姿と思われる。）